

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

特集

平成20年度  
町政執行方針

平成20年度  
教育行政執行方針

平成20年度  
予算

水道料金改定

福祉のページ

その他

### 強打の応酬・ミニバレー大会（2月24日）

町教育委員会主催による「第26回町民ミニバレー大会」が町民体育館で行われ、11チームが参加して、強烈なスパイクやアタックの応酬となり、熱戦が展開されました。競技の結果、優勝は「ONE HEART」（幾寅）、準優勝は、落合鹿男（落合）、第3位は「しもきんふあいたーすA」（下山）となりました。



### 子ども達は人形劇にくぎづけ（2月28日）

人権擁護委員の河原澄和さん、五日市義治さんと事務局員が幾寅保育所を訪れ、人権啓発の人形劇「くまと3匹のこぶた」を披露しました。



この人形劇は、友だちの気持ちを考えいつも仲良く遊ぼうとする態度を育てることを目的に実施されたもので、劇が始まると、園児たちは人形の動きにくぎづけになり、終了後は、「面白かった！」と喜びながら、大きな拍手を贈っていました。人形劇の後には、人権啓発のマスコット「人KENあゆみちゃん」も登場し、キャラクター人形を園児に手渡すと皆大喜びでした。



### 思い思いの本を制作（2月24日）

住民自主企画活動支援事業として子育てボランティアサークルWISH（戎家麻紀代表）が企画したコンテンポラリー・アート（現代美術）を体感、コラージュで「自分の本をつくろう！」がみなくなるで行われました。

この事業は、講師に絵本「あれこれたまご」の絵を描いた中野滋さんを招き、豊かな心と感性を育むことを目的に開催されたもので、集まった子どもたちは、自由にカラフルなチラシや雑誌をはさみで切り、木工用ボンドでパンフレットやノートに貼り付けオリジナルの本を制作しました。子どもと一緒に参加したお母さん達は「子どもたちの発想は想像がつかない。」と驚いていました。



### 幻の魚イトウの生態などを学ぶ（3月10日）

住民自主企画活動支援事業として目黒義重さん（落合）が企画した「町の宝 空知川を学ぶ講演会」が情報プラザで行われ、講師には、30年前から空知川のイトウや周辺に棲む動物の写真を撮り続けてきた写真家、稗田一俊さんを招いて、「幻の魚イトウ」の生態や空知川の役割などについて講演が行われました。稗田さんは、川が澄んでいることや砂利があること、砂利の間に隙間があることなどイトウが産卵するために必要な川の仕組みについて写真を使って説明し、「空知川は北海道一と言ってもいい素晴らしい環境が整っている川なので、大切にしてください。」と参加した皆さんに話していました。

